

## メンバーの声 (Part 5 / <sup>おおみやもりまさ</sup>大宮守雅君)

(聞き手：人間力向上室室長・西井宏明／話し手：事務局次長兼総務委員会委員・大宮守雅)

西井：今回は私と 2019 年入会の同期、大宮君の登場です！

大宮：こんにちは！氷室神社で神職を務めております。権禰宜（ごんねぎ）の大宮です。



西井：ごん…すみません、聞きなれない言葉でして…。

普段はどのようなことをされているのでしょうか？

大宮：宮司が社長なら権禰宜は平社員にあたりますが、普段は、まあ一言で言えば、神様の身の回りのお世話ですね。日供（にっく）、つまり神様のお供えや、お掃除、参拝に来られた方の対応などのほか、色々な祭事の準備をします。

西井：祭事とは、どのようなものですか？

大宮：うちはその名の通り、製氷・冷凍業界の業界神でして、一番大きいのは毎年5月、商売繁盛を願う「献氷祭」（けんぴょうさい）ですが、ほかにも10月の「御例祭」など、年間通して、色々なお祭りがあります。

西井：士業である私の仕事とは全然違う、神聖な世界に感じます…。どういう経緯でJCIへ入会を？

大宮：ある建物の地鎮祭をした際、そのオーナーさんがJCIをされており、誘われたのがきっかけです。

西井：そこでなぜJCIの話になったのか、若干疑問ではありますが（笑）、でもまあ結果的に、大宮さんはこれまでJCIの事業にも積極的に参加されていますし、特に今年は「事務局次長」として、まさに「縁の下の力持ち」的な存在に感じられますが、いかがでしょうか。

大宮：神社は、年間通して執り行う行事が決まっており、あまり変化がないのに対し、JCIは毎年役職も、年間スケジュールも変わりますよね。そこが一番面白そうだなと思いました。実際、JCIの事業を通じ、また、色々な個性を持ったメンバーとお話する中で、世界観が広がりました。

確かに、中心でスポットライトを浴びるより、経験の浅いメンバーに、これまでのノウハウをどう伝えるかなど、サポートする役回りが合っている気がします。

西井：ポジティブでありながらその謙虚な姿勢、見習わなければ…と思います！

そういえば、最近では、台湾での事業の際、竜の装いで舞いを披露されていましたよね！

大宮：はい。神事などで奉納する舞楽をさせていただきました。私は一生涯奈良で過ごすつもりでして、他府県、ましてや海外でこのような舞楽を行うことは、入会前は考えられませんでした。

これも、JCIに入ったからこそ、稀有な機会をいただけたものと思っています。



## メンバーの声 (Part 5 / <sup>おおみやもりまさ</sup>大宮守雅君)

西井：では最後に、J Cをまだ知らない方、入会を迷っている方に向けてメッセージをお願いします！

大宮：組織として活動する以上、確かに大変なこともあります。その中で成長できるかは、取り組み方、考え方次第です！色んなメンバーが在籍していますので、回りを巻き込めば、必ず楽しくなります！

西井：ありがとうございました！



色々な機会が得られます！  
40歳までの限られた時間、  
J Cと一緒に楽しみ、成長しま